

このプリントは、新入部員が確定して間もなくの、4月下旬か5月上旬にプリントとして配布し、1時間くらいかけて読み合わせを全員でします。2，3年生は2回目、3回目となりますが、学年が上がるたびに共感度が増すので、またか、という感じにはなりません。「去年はわかったつもりになってたけど、今度は本当にわかる！」という声もきかれます。

部活動の意義と部員に望むもの

部活動は同じもの(事)を好きな人が集まって、「学校」という枠の中でひとつの社会を作ることだと思います。そこで大切なのは、ただ好きな人同士が集まるというのではなく、知らない人、他学年の人とも一緒にひとつのものを作り上げるということです。これは「社会」の模型のようなもので、まもなく社会人になろうとする皆さんにはその予行練習の場であり、人間関係を作る練習をし、人と人の関わりの中で人が育っていく大切な場だと思います。

私達は音楽部ですので、歌を通して音楽を作り上げようとしているのですね。個人競技のスポーツと違って、お互いが心の底から信頼し合い、愛情をもって支え合う間柄でなければ良いものを作ることはできません。

人と付き合っていくときには、何もかもプラスというわけにはいきません。相手の発言に傷つけられたり、自分も気付かないうちに他人を傷つけたり。自分に不利益なことを承知で他人に言いくいことを伝えたり、嫌だなと思っても協力しなくてはならないこともあります。でも、人間関係が信頼し合い愛し合える間柄だと、ひとりの悲しみや苦しみは分かち合って励まし合えたり、逆に他人の喜びを自分のことのように嬉しく思えたりすると思います。

人と接するとき私が1番目に考えているのは、相手の幸せを願うことです。どうしたらこの人が心地良いだろうか、楽しく笑顔で過ごせるだろうか、ということです。時には相手を思いやるからこそ、辛口のアドヴァイスや叱責をすることもあります。でもそれは相手を傷つけたくてのことではありません。間違った行動をニコニコ見ているのは、決してその人のためにはなりませんよ。極端に言えば「万引き」する友達にやめさせるのと、黙って見ているの、どっちが愛情ある行動か、考えればわかると思います。

部活ではクラスと違って異年齢の人が集まる集団ですから、その中で先輩から教えを受けたり、後輩を育てたりというのは、とても大切な勉強だと思います。部員一人ひとりが音楽部としての技量を磨くことも大切ですが、それ以上に、人間として尊敬される存在を目指してほしいのです。先輩は後輩から尊敬されるべき人であるよう、自分自身を努力させていってほしいと思います。後輩は先輩を立てる気持ち、教わったことを素直に受け入れる気持ちを大切にしてください。そして、親しい間にも礼節をわきまえて接して欲しいと思います。

そして何か問題があったとき、意見を言わずに不満を感じているより、声にして相談し、他人のものの考え方を聞いてみることで、違う考え方に会え、解決するかもしれません。言葉に出さずに察してほしいと思っていてもなかなか伝わらないものです。先輩後輩にとらわれず、本音で意見を交換できる部にしていって欲しいと思います。

——部員にお願いしたいこと、心がけて欲しいこと。——

●体調管理

具合の悪い人に休むなど言うことも、もっとしっかり歌ってくれということも出来ません。具合が悪かったら笑顔では歌えないでしょうし…。いない人には教えることは出来ないのです、後でもう一度同じことを教えなくてはならず時間的にもロスが出ます。

●練習の密度を上げる

私語などが無く、とてもいい雰囲気での練習をしていると思います。さらに練習の密度を高めるために、他パートが注意されているときや音程の確認などしている時に、他パートの注意事項を自分に置き換えて感じてみたり、音をとっているときは自分のパートを小さく歌ってみるとか、他パートの音も一緒にハミングなどして憶えると力がつきます。他パートの注意事項も記録しておきましょう。

●挨拶をしっかり

挨拶の時、気持ちをこめてしっかり声を出しましょう。しゃべる声をしっかり出すことが歌声を良くすることに直結します。すでに実践してくれていますが、部活内だけでなく学校内外問わずいつでも気持ちの良い笑顔の挨拶や返事ができる人であって欲しいと思います。

●時間を大切に

限られた時間の中での活動です。時間を最大限有効に使うように心がけましょう。練習開始の時間や休憩時間が終わるのを自分で感じて自分が皆に声をかける気持ちでいましょう。その日の練習内容に合わせた個人練習も工夫してください。

●連絡を密に

欠席、遅刻の連絡等は必ず自分からわかりやすく（遅刻ならいつごろ到着予定とか）伝えて欲しいと思います。音楽部はペナルティを課したり、ひどく叱られる部ではないですね。でも、周りの部員に迷惑をかけていることを自ら理解して自らを律して欲しいと思います。欠席理由は「家の用事で」とか「医者に行くので」とかいうのではなく、具体的な理由を伝えましょう。訳あって言いにくい理由のときも、顧問には正直に言えて欲しいと思います。

●他者への気配り、思いやりの心を常に持つて。

人間関係がうまくいかず、相手のことを不愉快に思うのは、たいがい、自分と価値観が違うからです。自分の「ものさし」で相手を捉えているときです。どんな出来事、発言にも捉え方で複数の見方、感じ方があるというものです。「いやだな」と思ったり、「カチン」ときたときにも一呼吸おいて、逆の立場で物を捉えると、なるほど、と思えることもあるものです。相手の立場に立ってみることがとても大切だと思います。なぜこの人はこうした言動をするのだろうか、と理由を探して相手を理解することが大切です。そして、「その人を嫌う」という気持ちを持たずに、言動を嫌っているのだ、と考えてみてください。また、クラスの人など、部活以外の人間関係も大切にしてください。音楽部員とだけ仲良かったり、教室での居場所が無くなってしまったりしないようにしましょう。ですので、普通の昼食は教室でとるようにし、逆に土曜日などは音楽室で部員とのコミュニケーションを大切にしながら昼食をとりましょう。

●一人ひとりが自分に出来ることを探して取り組む

ひとつの仕事（取り組み）をするのは大変なことですが、仕事をしたことで人は成長もするし、

終わったときの充実感も得られます。割り振られたから仕方なく取り組む仕事は楽しくないし、よい仕事はできません。取り組んでいることに、ベストを尽くしてやり遂げる努力をすることで発見もたくさんあります。

●環境を整えて

音楽室は授業と共有の場ですので、授業の生徒にも見苦しくないように私物を上手に収納して下さい。また、掃除は皆で率先してやって下さい。準備室は基本的には「先生の部屋」です。ミーティングのときや、必要なときは使って構いませんが、借りているという意識を持ちましょう。準備室への出入りは、中に人がいるかどうかに関係なく、必ずノックをして入室しましょう。

●ネット依存症にならないでください。 ネット上のトラブルが大変増えている時代です。ネットへの書き込みはプライベートな日記帳を道路に広げておくようなものです。Twitter 等、SNS の利用はなるべくならしないほうがトラブルの元になりません。LINE はもはや連絡手段としては皆さんにとって欠かせないものかもしれませんが、事務連絡のみに使うようにして欲しいと思います。プライベートな記載（自分のことも他人のことも）や写真を貼る、他人を傷つける様な発言は絶対あってはなりません。大事な話や、心情を伝える内容は必ず直接会話を持ちましょう。

●部活動は結局、何のためにあるのでしょうか。私は人を育てるための場所だと思っています。コンクールなどで入賞することはもちろんうれしいことです。自分の努力が周囲に認められたと感じられるからです。でも、それ以上に、「人として求められる、素敵な人になってほしい」と願っています。あなたがいてくれると助かる、あなたがいてくれるとホッとする、というように。松女で担任が「音楽部のたくさんいるクラスでよかった～」とだけいっていただけるような、そんな人になってほしいと願っています。

——私自身が普段から自分に言い聞かせてきたこと。皆さんにも心がけて欲しいこと。——

・人として素敵な人を目指したい！

・人のせいにしない。言い訳をしない。自分を正当化しない。

・苦手な人や嫌いな人を作らない。嫌いな物事を作らず、何でも工夫して楽しんで取り組む。

・何かあっても、「人間は間違えをする生き物だから」と人を許す。

・嘘をつかない。常に誰に対しても誠実であろうとする。

・騙されていると知ってしまっても騙され続ける人でも良いが、自分は決して他人を騙さない。

・何に対しても全力投球、一生懸命取り組む。押し付けられた仕事であっても。

・苦勞した人が一番の感動をする。だから、積極的に苦勞を引き受けよう。

・周囲に目を配り、一人でいる人を作らない気配りを常にしよう。

・自分を「人見知り」と命名して逃げずに、自分から積極的に他人と関わろう。

・毎日うわべでなく、心からの笑顔でいられる「心」を持とう。

・挨拶は大きな声で、笑顔ではっきりと。人の話は必ず顔を見ながらうなずきながら聴こう。

・自分で自分が好きになれる行動をとろう。

人間は完全な生き物ではない。むしろ弱くて不完全でダメな生き物なのだから、ダメであたり前。だからこそ、がんばる姿は美しいのだと思います。